

# 折り鶴のつなぎ方説明書

＜準備物＞ ① 折り鶴78羽分 ② ストロー78本（6cm） ③ たこ糸1本  
④ ストッパー1枚（1cm四方に切ったもの） ⑤ 短冊1枚  
⑥ 鉛筆（先が尖っていないもの） ⑦ （長さ基準ひも等） ⑧ （つなぎ合わせ用針）

＜作業手順＞

※⑥⑦⑧は各校で御準備ください。

〔準備〕 児童生徒は鶴を折る。折り紙には、自分の夢や希望、感謝の気持ちなどを記入しても良い（学校名や名前は記入しない）。

今回の色は、小学校水色、中学校白です。

\* 気持ちを記入する箇所は特に指定はしない。記入するペンについても、特に指定はしない。

## 78羽の折り鶴を1本のたこ糸でつなぐ

1 折り鶴にストローをさす（77羽の折り鶴にはストローをさし、1羽の折り鶴にはストローをささない）

(1) 77羽の折り鶴に鉛筆で深く穴を開ける。



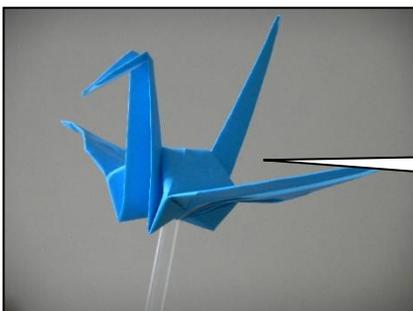
\* 鉛筆が折り鶴の背中から突き出ないように注意する。

写真の中の折り鶴の色と配付した折り紙の色は違うが、作り方は同じ。

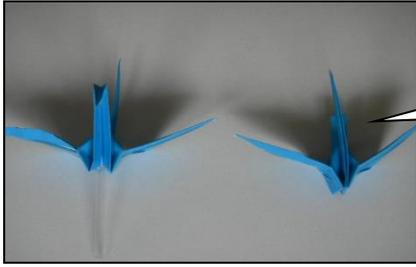
(2) 77羽の折り鶴に6cmのストローの先を折り鶴の背中までさす。1羽の折り鶴にはストローをささない。



77羽の折り鶴はストローをさす前に折り鶴の背中を丸くしておく。



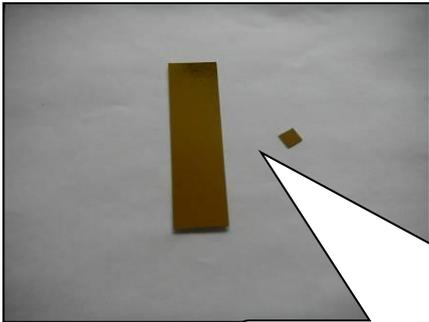
ストローが折り鶴の背中を突き抜けないように注意する。



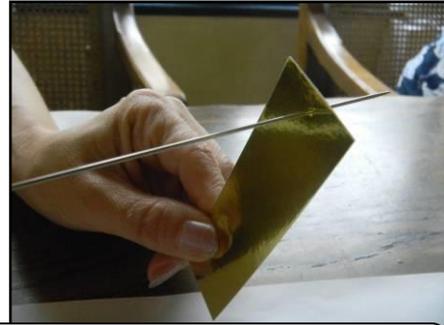
ストローをさした折り鶴7羽  
ストローをささない折り鶴1羽  
を準備する。

## 2 短冊に穴を開け、ストッパーをつける。

(1) 短冊とストッパー（縦横1cm程度）を準備する。

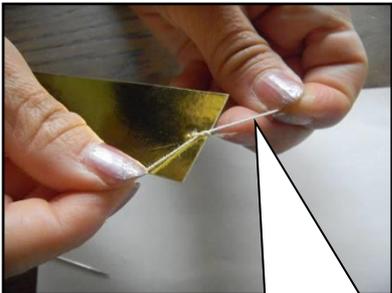


(2) 針にたこ糸を通し、針で短冊に穴を開けながら糸を通す。



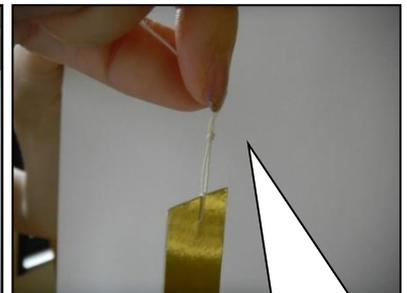
短冊（大）は学校名が印刷されており、短冊（小）には、  
学校名を記入する。

(3) 糸を通したら3cm残し、  
から結びを1回する。



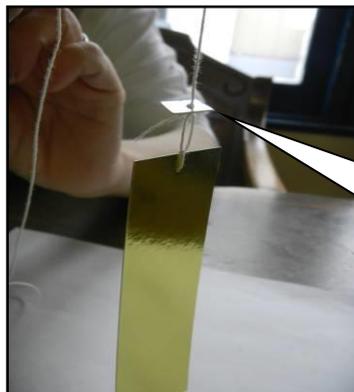
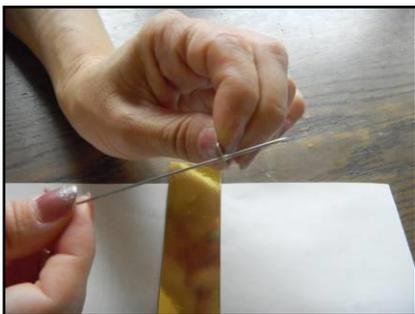
約3cm程度糸を残す。

(4) 残した3cmの糸で1.5cm程度の  
輪を作り結ぶ。



この結び玉でストッパー  
が止まる。

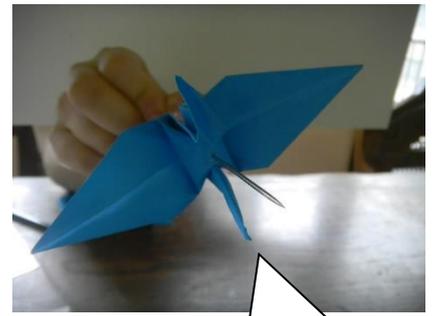
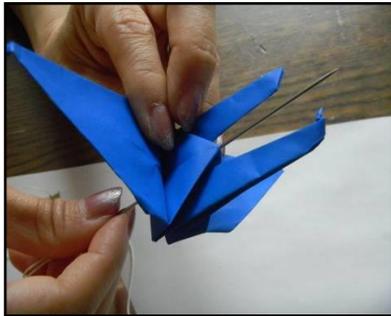
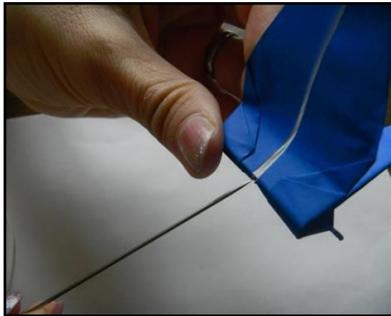
(5) ストッパーに針をさし、糸を通す。



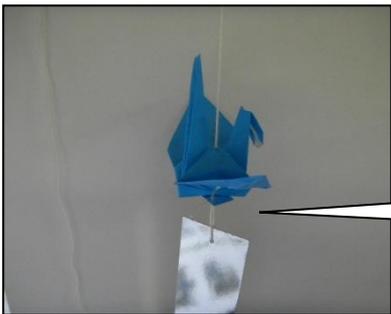
結び玉の上でストッパー  
が止まるようにする。

**3 短冊のついた糸に折り鶴をつなぐ**  
**(ストローをさした折り鶴77羽と、ストローをさしていない折り鶴1羽を準備する。)**

- (1) ストローをさしていない1羽の折り鶴に下から針で糸を通す \* 糸を通す前に77羽の折り鶴の羽根を広げておく。

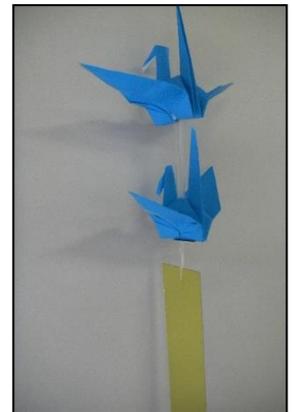
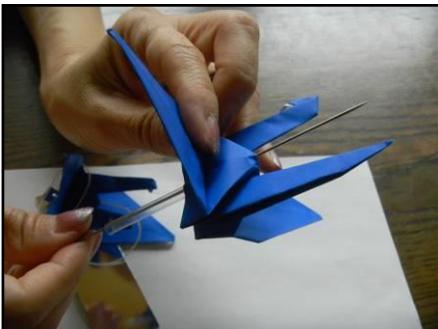


針が折り鶴の背中の中心を突き抜けるようにする。

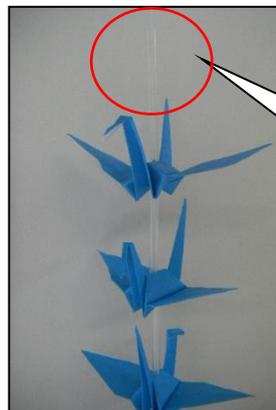
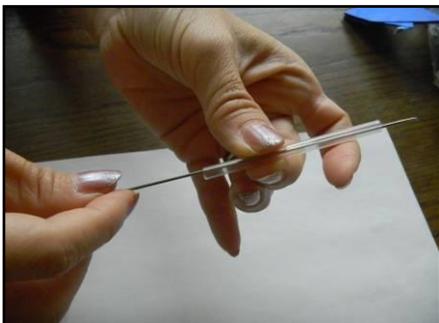


ストローをさしていない一番下の折り鶴は、ストッパーのところで止まるようにする。

- (2) ストローがさしてある折り鶴に針で糸を通す。 \* この作業を折り鶴77羽分繰り返す。



- (3) 78羽全ての折り鶴に糸を通し終わったら、1本のストローを糸に通す。



つなぎ合わせた78羽の折り鶴の一番上に1本のストローを糸に通す。

全部で仙台市の児童生徒数より少し多い、78,000羽の折り鶴を作ります。仙台市の全児童生徒が作った折り鶴が飾られることとなります。

(4) 上の部分の糸は切らずに、糸を紙等に巻きつけるなどし、糸がストローや折り鶴から抜けないようにする。



5 78羽をつなぎ合わせた折り鶴に、メジャー等を当てて長さを確認し、長短をそろえる。

つなぎ合わせた一番下の鶴のストッパーから、一番上の鶴(78羽)のストローまでの長さを、メジャー等で測り、長さを揃える。(約4m70cm)

\*長さを確認する時は、

- ① 折り鶴の数が78羽か確認します
- ② つなぎ合わせたたこ糸を上引っ張り、折り鶴と折り鶴の間をなるべく詰めます
- ③ ストローが折り鶴の背中を突き抜けていないか確認し、突き抜けていた場合は背中にテープを貼るなどして、ストローが突き抜けないようにします

ストロー



ストッパー

各校一色を基調とした一本七十八羽の折り鶴となります。  
小学校「水色」、中学校「白」の折り鶴をつなぎ合わせれば復興折り鶴飾りができます。

6 完成 \* これを学校指定本数分(短冊の数分)制作する。



# 折り鶴（回収時）のチェックポイント

- 1 折り鶴の数が1本に78羽つけられているか。
  - 2 折り鶴の羽根は開いているか。
  - 3 折り鶴の背中をストローが突き抜けていないか。
  - 4 短冊とストッパーの間に約1.5cmの結び輪があるか。
  - 5 学校名入りの短冊（大）には、メッセージが書かれているか。  
他の短冊（小）には学校名が記入されているか。（銀色側）
- ※ 今年度から短冊（大）と短冊（小）がコロナ禍前に戻ります。
- 6 1本の長さが規定の長さになっているか。（約4m70cm）
  - 7 一番上がストロー，次が最初の折り鶴になっているか。
  - 8 ストローが折り鶴の背中を突き抜けた場合は，セロテープで修理，補強する。
  - 9 卒業式や入学式で飾った後は，ストローが鶴の背中を突き抜けていないか，鶴が傷んでいないかを御確認ください。鶴が傷んでいる場合は補修をお願いします。